

I 第10週の発生動向 (2009/3/2~2009/3/8)

- インフルエンザについては、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。八戸、五所川原保健所管内においては**注意報**が続いています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、上十三保健所管内において新たに、弘前保健所においては、引き続き**警報**が発令されています。

II 第10週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数				
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	保健所名	小児科	内科	眼科	基幹
(85) インフルエンザ	124	8.86	66	4.40	182	13.00	116	16.57	120	13.33	39	6.50	647	9.95	-123	29	14.50	95	7.92	2	1	1	0	0
(74) RSウイルス感染症	1	0.11							1	0.17			2	0.05	2			1	0.13					
(75) 咽頭結膜熱	2	0.22	1	0.11	2	0.22	1	0.20			5	1.25	11	0.26	4			2	0.25					
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	2.67	25	2.78	14	1.56	3	0.60	26	4.33	7	1.75	99	2.36	21			24	3.00					
(77) 感染性胃腸炎	85	9.44	60	6.67	45	5.00	16	3.20	45	7.50	45	11.25	296	7.05	42	4	4.00	81	10.13					
(78) 水痘	28	3.11	6	0.67	3	0.33	3	0.60	6	1.00	7	1.75	53	1.26	6	8	8.00	20	2.50					
(79) 手足口病	13	1.44	3	0.33									16	0.38	-17			13	1.63					
(80) 伝染性紅斑			2	0.22	2	0.22			4	0.67			8	0.19	5									
(81) 突発性発しん	3	0.33	2	0.22	5	0.56	1	0.20	2	0.33	5	1.25	18	0.43	-2	1	1.00	2	0.25					
(82) 百日咳															0									
(83) ヘルパンギーナ															-1									
(84) 流行性耳下腺炎	8	0.89	4	0.44				5	1.00			1	0.25	18	0.43	7		8	1.00					
(86) 急性出血性結膜炎															0									
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00			1	0.50	1	1.00					4	0.36	-3			2	1.00					
(95) マイコプラズマ肺炎					3	3.00							3	0.50	0									

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、上十三2人 (21年計：57人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：青森市1人 (21年計：3人)
- (73) 麻しん(五類全数把握疾患)：むつ1人(臨床診断例、1~10歳代) (21年計：3人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

結核

(二類全数把握疾患)

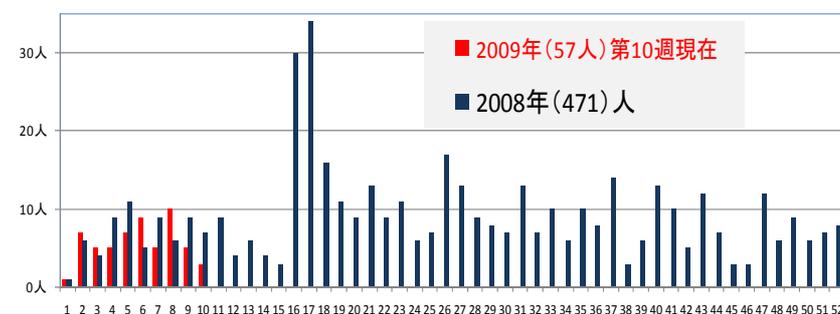


図1 青森県における届出数推移 (2008-2009年) (週)
青森県感染症発生動向調査による速報値

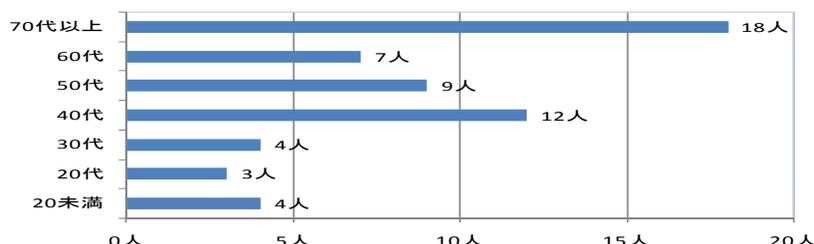


図2 年齢別構成(2009年10週現在青森県)

本県では、昨年、結核による集団感染等があり、結核罹患率は全国19.2(人口10万対:概数)に比べ、青森県は21.0(〃)と全国値を超えました(保健衛生課調べ)。昨年の県内における感染症発生動向調査では、届出者数(結核患者と潜在性結核感染症者)が471人でした。結核は、感染しても特徴的な症状を示さない場合も多く、初期は、咳や微熱など風邪に似ていることもあります。感染に気付かず、未治療のため、感染が広がる場合もあります。**感染が疑われる場合や健康診断で要精検の通知を受けた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。**

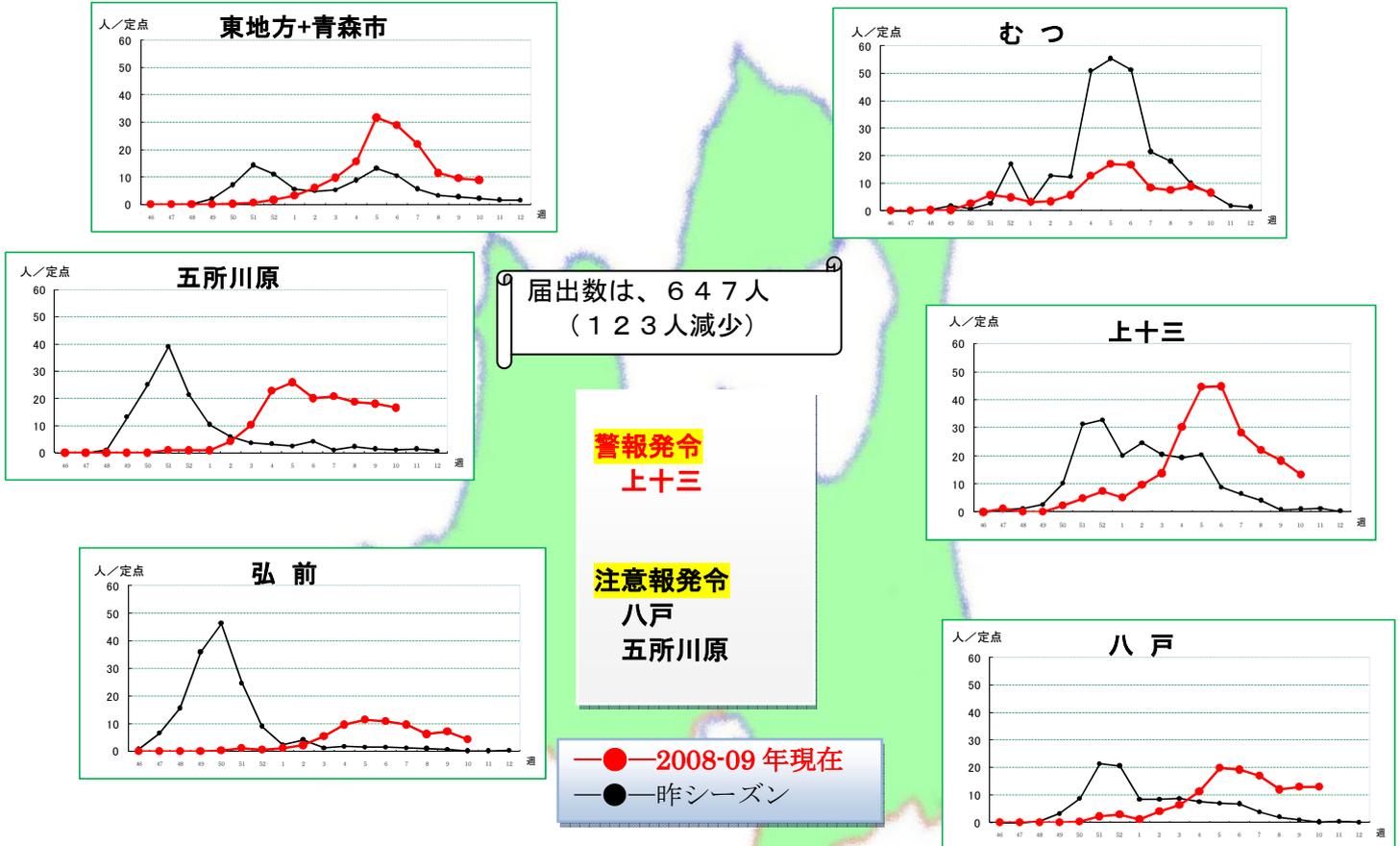
IV インフルエンザ情報 第10週 (3/2~3/8)

迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。()内は、前週届出数です。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	29	66	182	116	120	39	95
A型	29	39	87	49	82	36	27
B型	0	27	58(37)	67	38	3	0

A型が流行していますが、五所川原保健所管内ではB型の報告数の方が高い状態が続いており、八戸保健所管内においては、B型が増加していることから今後の動向に注意が必要です。

V 保健所管内別届出数推移 *Adobe Readerは、最新のバージョンをお願いいたします。



注：警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報レベルは10人/定点です。

VI 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 ☞ 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunva/kenkou/kekakaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html